

そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで祝福し、パンを裂いて弟子たちにお渡しになり、弟子たちはそれを群衆に配った。(19)

夕暮れになり、お腹を空かせている群衆のために、弟子たちの手で食べさせるようにと主イエスは言われました。男性だけで五千人を数え、女性や子どもも入れば一万人を超えていたでしょう。大群衆を前にして自分たちの無力さに途方に暮れる弟子たちに、主は彼らの手元にあったパンと魚を持って来るようにと命じます。主イエスはそれを手にとり、祝福して裂き、弟子たちに渡されました。わずかなパンと魚がイエスの手の中でなくなることなく、全ての人が十分食べる事が出来たのです。弟子たちは大切なことを学びます。自分たちがまず主イエスから豊かに受け取り、その与えられたものをもって人々を養っていくべきだということ。今も世の多くの人々が心の飢え渴きを抱えています。その人たちのためにも、まず私たちが主から溢れる恵みをいただくにはありませんか。